

第 98 回二科展 巡回展（福岡展）



▲福岡市美術館

■ 2014年3月25日（火）～3月30日（日）福岡市美術館（全室）にて福岡巡回展を開催しました。4部門（絵画・彫刻・デザイン・写真）全国巡回作品と地元入選作品合わせて約630点を展示し、4,681人の方に御入場いただきました。二科福岡支部、二科山口支部、二科大分支部、二科佐賀支部、二科長崎支部の協力のもと、無事終了することができました。

3月24日の前夜祭は生方純一常務理事、西健吉理事をお迎えし、美術評論家・田川市美術館長 松尾孝司氏、福岡市美術館長 錦織亮介氏をはじめ、共同主催である西日本新聞社の方々に御出席いただき、親睦と交流を深めました。また、当巡回展のみの西日本新聞社賞を選考し、絵画部は石見香賀里、岩田一男、加藤光子の3氏、デザイン部は湯浅亮子氏、写真部は平良朝子氏が表彰されました。

3月25日のギャラリートークは、絵画部は、生方純一理事、西健吉理事、木戸征郎監事に参加していただき貴重な創造の秘密を御披露いただきました。またデザイン部・写真部は地元会員によるトークが行われました。

3月30日最終日のギャラリートークは、絵画部は、地元会員の進行で出品者が自作の前で自評を行いました。デザイン部は地元会員、写真部は、特別会員中山陽氏によるトークが行われました。たまたま帰郷されていた大隈武夫理事が御来場され、急遽自作の前でトークをしていただくというハプニングもあり、大変盛り上がりました。

西日本新聞社による取材・新聞掲載等も多大な御協力をいただき、各県の紙面での社告・作品紹介・広告等をあわせると、43点もの作品画像を掲載していただきました。



▲会場入り口



▲前夜祭 受賞者・初入選者の紹介



▲前夜祭



▲ギャラリートーク (3/25)
生方常務理事・西理事・木戸監事をお迎えして



▲ギャラリートーク (3/30)
大隈理事・自作を語る

■ 4部門会場展示に関するコラム記事

《絵画部》

広い特別展示室と市民ギャラリーを使って、巡回作品、地元作品を全作品展示。2点入選の巡回受賞作など注目されている作品を近い展示室に集めるなど、見やすく解りやすい展示を心掛けました。鑑賞者の進路にあわせたスッキリとした構成を心掛けました。



▲絵画部展示風景

《彫刻部》

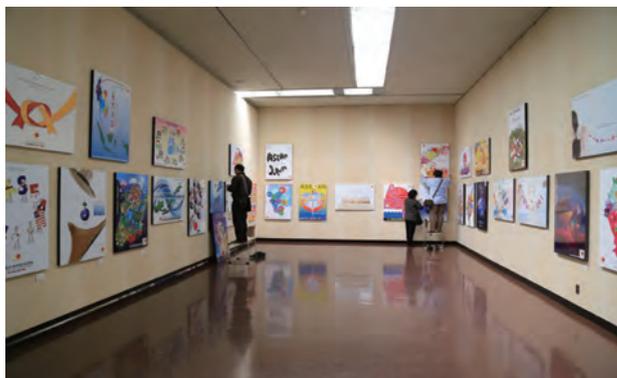
他部門は、会場を年ごとにローテーションしているが、彫刻は例年広い大きな特別展示室の進路のちょうど中間辺りにまとめて展示しています。数の多い絵画作品の間にアクセントをつける見やすい構成となっています。



▲彫刻部展示風景

《デザイン部》

A～Dの4部門を見やすくわかりやすい構成で配置しました。正面を地元出品者の作品を展示。右回りでC 特別テーマ（日・アセアン友好協力40周年）→A 自由テーマ ポスター→B 自由テーマ イラストレーション→D マルチグラフィック（若い人だけでなく、年配の方にも好評だった）というようにテーマ別に展示しました。



▲デザイン部展示風景

《写真部》

風景・人物等の約10種のジャンル別に見やすい構成に心掛けました。作品は上下2段で展示したため、上下のバランスを考えながら展示し、ジャンルごとのバランスにも気を使いながら展示しました。



▲写真部展示風景